

(月桂冠大倉記念館)

一帯の酒蔵の施設は京都市の「重要界わい景観地域」にも指定され、多くの「近代化産業遺産」の建築物が存在。

月桂冠とは、月桂樹の葉の付いた枝をリング状に編んだ冠で、勝利と栄光を意味しています。

Q1 江戸時代、「伏水」とも書かれていた地名です。何と読まれていたでしょうか? [画像 1 参照](#)

A1 ふしみ 質の高い伏流水(地下水)が豊富な地であることから。

Q2 月桂冠の前身である「笠置屋」は何と読むでしょうか? [画像 2 参照](#)

A2 かさぎや 1637 年創業。京都市南部の笠置から出てきたことにちなみま
す。

Q3 一升の酒に使用される水はどのくらいでしょうか?

A3 八升

Q4 大倉家住宅で外部にある「虫籠窓」目的は何でしょうか? [画像 3 参照](#)

A4 通風や採光に利用。江戸時代、二階建てが禁止されており、屋根裏を利用したことから。形状が虫かごに似ていることからそう言われています。(諸説あり)また、時代が古いものほど小さいものが多いそうです。

Q5 大倉家住宅で太い木材を組み合わせた「酒屋格子」がありますが、なぜ太いのでしょうか? [画像 3 参照](#)

A5 酒だるがぶつかっても大丈夫なように。見付は 70mm~105mmほどです。

Q6 月桂冠旧本社はいつまで本店として利用されていたでしょうか?

1.1868 年 2.1945 年 3.1993 年 [画像 4 参照](#)

A6 3 1993 年(平成 5 年)

Q7 月桂冠旧本社で壁の足元を守る「犬矢来」(いぬやらい)に囲まれています。さて犬と何から守るものでしょうか? [画像 4 参照](#)

A7 馬

Q8 月桂冠旧本社で表玄関には石段や石囲いが施され、床面は 1mほど高くなっています。何の自然災害から守るためでしょうか？ [画像 4 参照](#)

A8 水害。当時の宇治川の氾濫に対して。

特徴 景観に配慮された整備
土色に近い色彩のカラー舗装
遊歩道
レトロ調の電灯
電柱の地中化

(みやこめっせ) [画像 5 参照](#)

イベント会場・展示場

Q9 みやこめっせ周辺の見所を近い順に教えてください。

- 1 京都伝統産業ふれあい館 [画像 6 参照](#)
- 2 平安神宮 [画像 7 参照](#)
- 3 忍者バーチャル・リアリティ京都 [画像 8 参照](#)

Q9 1(0m) 2(200m) 3(600m)

それ以外に京都国立近代美術館 200m、細見美術館 100m 京都市美術館 200m 有鄰館(ゆうりんかん) 200m

■ Q9-2 みやこめっせ B1F にある、京都伝統産業ふれあい館はどんな施設

A9-2 京都の伝統工芸品を展示している

(山崎蒸留所)

Q10 蒸留所に現存する最古の樽は、稼働し始めた 1924 年のものですが、その中身はどれくらいあるでしょうか？ [画像 9 参照](#)

1. 満タン 2. 3 分の 2 3. 半分 4. 10 分の 1 5. 空っぽ

A10 5 (理由はガイドさんにきいてみて下さい)

Q11 ウイスキーは長年、樽で熟成している間に少しずつ蒸発します。ウイスキー独自の味わいと香りが生まれる為には仕方のないことなのですが、昔の人たちは、熟成時に蒸発を別の言葉で例えました。和訳して下さい。

Angels' share 天使の [画像 9 参照](#)

A11 分け前 (取り分)

Q12 サントリーの社名の由来です。トリーは創業者の鳥井さん。では、サンは何でしょうか？

A12 太陽 自社商品の赤玉ポートワインにデザインされている赤玉を太陽に見立て、そのブランド名が社名に変わったそうです。

また、名水の地であり、千利休 妙喜庵 (みょうきあん)「待庵 (たいあん)」も近くにあります。

(大山崎山荘美術館)

アサヒビール創業者のコレクションを中心に所蔵されています。元は別荘であり、老朽化した建築物を復元し美術館となりました。

Q13 本館では北ヨーロッパの木造建築の技法が取り入れています。外装ですが、柱、梁、斜材 (筋違)、間柱、窓台等の軸組は隠されず、装飾材としての役目を兼ね間に漆喰やレンガ、石などで仕上げています。 [画像 10 参照](#)

A13 ハーフ (半木骨造)

R C 造も採用、屋根は S 造となっています。

Q14 増築部分の設計者は誰でしょうか？ [画像 11 参照](#)

A14 安藤 忠雄

Q15 増築部分の建築物は半地下の構造となっていますが、なぜでしょう

か？（第2ヒント 屋上緑化） **画像12参照**

A15 山荘の景観を保持するため。また、光と温度、湿度を一定に保つ必要がある収蔵空間を有する美術館に適してもいます。

他の見所 地下回廊の先にある睡蓮の池、周囲の庭園
元々、蘭の温室につながる通路をそのまま利用している部分

（平等院） **画像13参照**

鳳凰堂は藤原道長の息子の頼道が別荘から寺へ改めたもの。極楽浄土をイメージするための場所、またそのもの。H16 世界遺産登録

Q16 鳳凰堂は約何年前の建築物でしょうか？

1.1500年 2.1000年 3.500年

A16 2

Q17 国宝の雲中（うんちゅう）供養菩薩像は元は建築物内部のどこに設置されていたのでしょうか？ **画像14参照**

A17 長押の上の壁 鳳翔館に展示されています。

Q18 鳳凰堂は10円硬貨に描かれていますが、現在使用されている紙幣に関連しているものがあります。どの紙幣の何でしょうか？

A18 1万円札の鳳凰（H16より）鳳凰堂の屋根には複製が、実物は鳳翔館に展示されています。また、S55発行の60円普通切手に梵鐘（ぼんしょう）があります。

見所 鳳翔館 設計栗生 明
軒先の垂木とガラス
半地下
地階から地上への順路

Q19 鳳翔館の設計者は誰でしょうか

1.安藤 忠雄 2.ル・コルビュジエ 3.栗生 明

A19 3.栗生 明(くりゅう あきら)

この問題は、バスの中で探訪前に予習としてのクイズとなっています。

解答は諸説ありますのでご理解下さい。（作成者 村越・高野）

術 水

笠
立

置
直

履
至



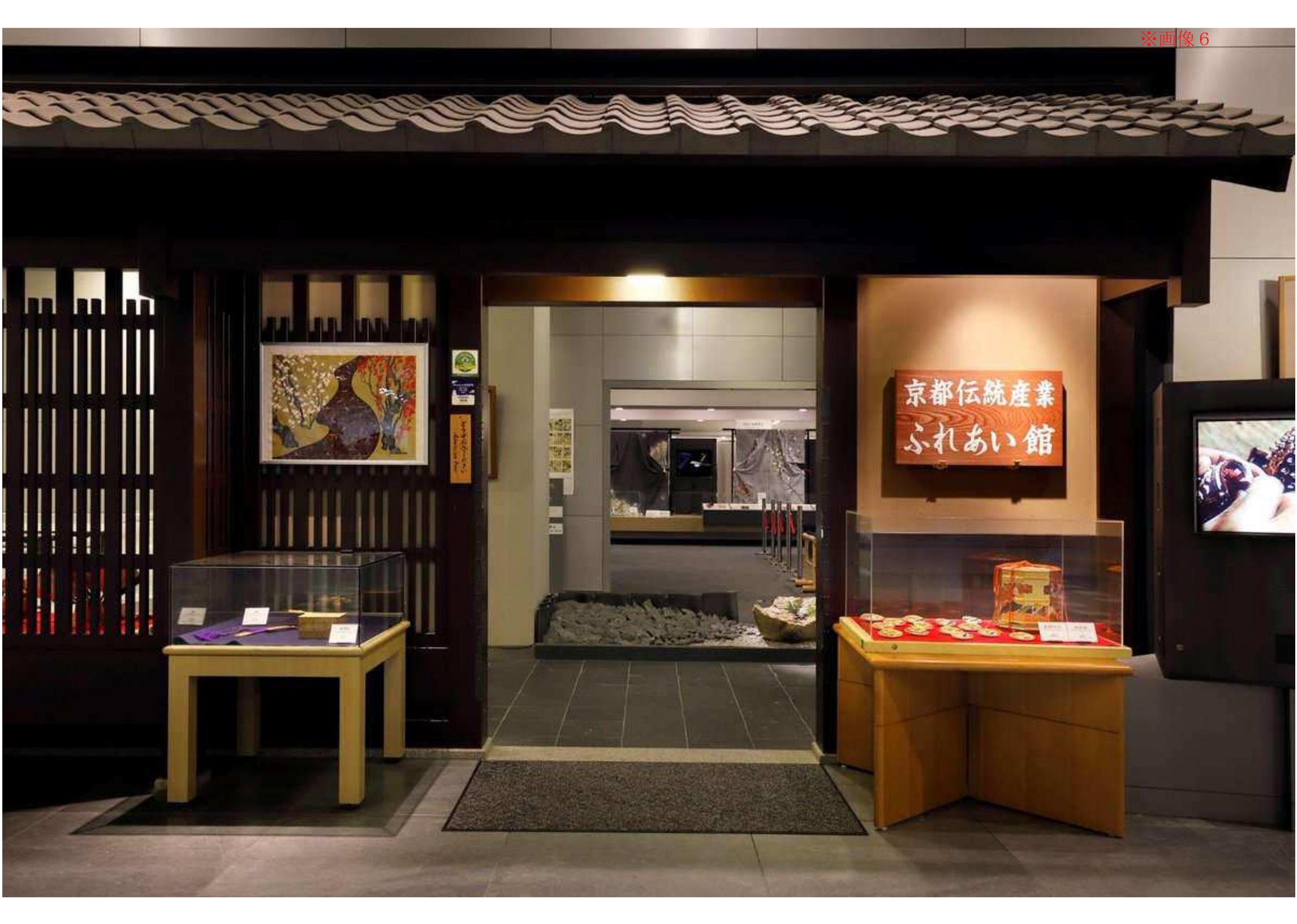
虫籠窓

酒屋格子





みやこめっせ



京都伝統産業
ふれあい館



平安神宮



忍者VR京都











平等院鳳凰堂

雲中供養菩薩像（全体）

木造、彩色・漆箔・載金

鳳凰堂中堂内部の長押（なげし）上の小壁（こかべ）に懸けならべられている52軀の菩薩像。この群像も定朝工房で天喜元年（1053）に制作されたものです。南北コの字形に阿弥陀如来を囲んでなっています。南北半数ずつに分けて懸けられ、各像には南北1から26までの番号をつけています。各像はいずれも頭光（輪光）を負い、飛雲上に乗ってさまざまな変化にとんだ姿勢をとります。5軀は比丘形（僧形）で、他は菩薩形です。それらはいろいろな楽器を演奏したり舞を舞ったり、あるいは持物をとったり、合掌したりしています。



